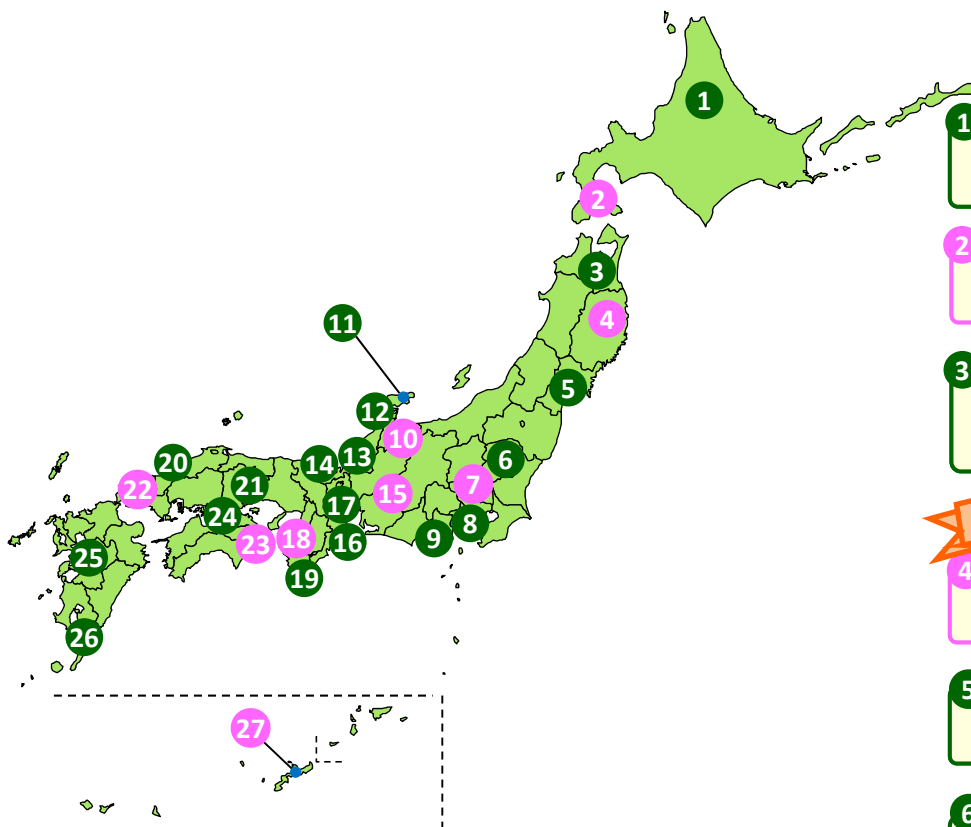




「ディスカバー農山漁村の宝」 (第2回選定)



1 北海道 剣淵町
けんぶちちょう
絵本の里けんぶちVIVAマルシェ

2 北海道 北斗市
函館育ちふっくりんこ蔵部

3 青森県 平川市
農業生産法人
株式会社グリーンファーム農家蔵

グローバル賞

4 岩手県 遠野市
遠野・住田ふるさと体験協議会

5 宮城県 仙台市
一般社団法人 ReRoots

6 栃木県 市貝町
いちかいまち
芳那の水晶湖ふれあいの郷協議会

7 埼玉県 秩父市
お菓子な郷推進協議会

8 神奈川県 平塚市
平塚市漁業協同組合

9 静岡県 西伊豆町
にし伊豆ちょう
西伊豆しおかつお研究会

グランプリ

10 富山県 射水市
いみずし
新湊漁業協同組合

11 石川県 能登町
のどちよう
春蘭の里実行委員会

12 石川県 七尾市
NOTO高農園

13 福井県 福井市
殿下の里づくり組合
かじかの里山殿下部会

21 岡山県 久米南町
くめなんちよう
北庄中央棚田天然米生産組合

プロデュース賞

22 山口県 萩市
社会福祉法人 E.G.F

23 徳島県 吉野川市
特定非営利活動法人
美郷宝さがし探検隊

24 香川県 多度津町
たどつちよう
農事組合法人 たどつオリーブ生産組合

25 熊本県 玉名市
小岱山薬草の会

26 鹿児島県 南大隅町
みなみおおすみちよう
社会福祉法人 白鳩会

27 沖縄県 名護市
やんばる畑人プロジェクト

14 福井県 若狭町
わかさちよう
農業生産法人
有限会社 かみなか農楽舎

15 岐阜県 下呂市
馬瀬地方自然公園づくり委員会

ウイメン賞

16 三重県 鳥羽市
相差海女文化運営協議会

17 滋賀県 野洲市
やすし
せせらぎの郷

18 和歌山県 有田市
ありだし
株式会社 早和果樹園

19 和歌山県 田辺市
農業法人株式会社秋津野

20 島根県 浜田市
美又湯気の里づくり委員会

※桃色で囲まれた地区は、全国9ブロック(北海道、東北、関東、北陸、東海、近畿、中国、四国、九州・沖縄)各ブロックで評価が最も高かった地区。



北海道 剣淵町

「食」の
提供・活用

農林漁業
体験

地産地消



絵本の里けんぶちV I V A マルシェ

絵本の里けんぶち軽トラマルシェ
お客様と共に農業を楽しみたい！



軽トラの移動販売



軽トラマルシェ



地元食材の「農家めしバイキング」

概要

若手農業者が農作物を軽トラの荷台に積み込み、各地で移動販売（マルシェ）。地元小・中・高校の体験学習の受入れ

マルシェの情報は、ブログ等SNSを通じて定期的に発信

小売店との価格競争に巻き込まれないよう、小売店にはない少量多品種販売を実施

成果

売上げが30万円（H22）から1,600万円（H26）と増加傾向

直接消費者と接することで、栽培農作物に一層の責任感を持つとともに、消費者ニーズを直に感じることで、生産現場に反映

農作物の販売に留まらず、農家レストランの食材提供やワークショップ、加工品製造など活動内容が多角化



北海道 北斗市

「食」の
提供・活用

農林漁業
体験

地産地消



函館育ちふっくりんこ蔵部

美味しいお米 自分たちで決まりをつくって守る！

道南の「美味しいお米」をより多くの人に食べてもらいたい



田植え体験



高校生による販売促進



JAL国内便ファーストクラスの機内食

概要

独自基準を設けて品質を守る取組により、米の品種「ふっくりんこ」のブランド化を推進

「食べる前に知ること」をテーマに、地元高校生の農作業学習や体験ツアーにより、食について普及・啓発

「ふっくりんこ」を原料とした純米酒等加工品の開発・販売

成果

生産量は、平成15年から右肩上がり増加し、平成22年以降は7～9千トンで推移

JAL国内便ファーストクラスの機内食として採用

地元外食チェーン店や小中学校の給食に採用



青森県 平川市

食育

農林漁業
体験

6次産業化



農業生産法人 株式会社グリーンファーム農家蔵^{のうか くら}

日本一の農家蔵・庭園の町で食農・食育教育の実践



高校生への食農教育



米国の学生へ食農教育

食農教育の生活体験

概要

日本一といわれる農家蔵・庭園群を地域資源として活用

受入組織の構築や受入農家研修、大都市圏の旅行会社や学校への教育旅行の誘致活動、ファームステイ受入れ、インバウンド受入れ（米国、タイ、台湾）等により、農作業・農村生活体験を通して農業と食料の大切さを理解する食農・食育の実践

米粉入りパンやジェラートの販売など6次産業化を推進

成果

毎年、3千人規模の教育旅行の受入れ

県内有数の教育旅行受入地となることで、受入農家や地域商工業者に経済波及効果

米粉パンは販売開始の26年度に120万円の売上げ。27年度は200万円を見込む



岩手県 遠野市

自然・景観

観光

学校・企業



とのお すみた 遠野・住田ふるさと体験協議会

企業研修や外国人にグリーン・ツーリズムをすすめよう！



外国人研修生と収穫体験



海外研修生と古民家再生作業



廃校を活用して研修を実施

概要

首都圏の大企業と連携し廃校の活用や農家民泊を通じて、コミュニケーション育成を主とした企業研修・交流を実施

インバウンド需要に応え、受入家庭向け英語研修や外国人の視点による市内サインの見直し、外国語の地図の刷新などを実施するほか、大型商談会に出展しPR
沿岸復興地への視察・ボランティアのニーズに応える行程の確立

成果

民泊の受入対象が、学生主体だったものが、企業研修やインバウンド対応にまで広がることで、リピーター増に繋がり、様々な地域施設の利用も増加するなど経済波及効果大

企業研修（2割増見込み（H26-27））やインバウンド（5割増見込み（H24-27））の増加等新しい客層ニーズに対応するため、新規の受入家庭や後継者の確保が促進



宮城県 仙台市

復興

地産地消

農林漁業
体験



リ ル ー ツ

一般社団法人 ReRoots

復旧から復興へ、そして地域おこしへ



公営住宅で移動販売



地域美化活動



サツマイモの苗植え

概要

被災農家と協力した市民農園やアンテナショップの開設、行政等と連携したワークショップへの参加、地域美化活動等を通じて、地域コミュニティの再生を支援。アンテナショップや移動販売で被災農家の野菜販売を実施。また、企業等と連携しレトルトカレーの商品化。ひまわり植栽など農村景観ツアーや、さつまいもの農業体験・食育ツアーを実施。

成果

地域コミュニティ再生への地元住民の立ち上がりを促進

大学生が主体となることで若者の農業への関心を引き出し、設立当初からのメンバーが県北で就農

野菜販売活動を通じて、消費者のニーズを農家に伝えることで、農薬使用を控えたり、珍しい野菜づくりへの挑戦など農家活動に変化



自然・景観

観光

ボランティア

栃木県 市貝町



はな すいしやうこ さと 芳那の水晶湖ふれあいの郷協議会

影は薄いが、情けは厚い 本州最大級 芝ざくら公園



芝ざくらまつり



高校生による植栽ボランティア

高齢者の除草ボランティア

概要

「負の遺産をプラスに変える」との発想の下、国営農業水利事業で発生した大量の残土置場を「芝ざくら公園」として整備

地域の自治会が組織化し、町と連携して芝ざくら公園の維持・管理を行うほか、鉄道会社等と連携した観光ツアーの開催、そばオーナー制、イベントの開催等観光誘客に取り組み

公園管理の作業について、ポイントカード制を導入するなどボランティアを確保

成果

20万人が訪れる芝ざくらまつりや各種イベントの開催により、地元商店や町内事業所が活性化され地域経済に寄与

イベントや施設の管理など、年間を通じた雇用の創出

地域の全戸が協議会の会員となって活動を行い、地域コミュニティの再構築が促進



6次産業化

地産地消

自然・景観

埼玉県 秩父市



お菓子な郷推進協議会

カエデの多分野多用途活用



概要

秩父の山々に自生しているカエデに着目し、国産メープルシロップ事業を開始。樹液の採取、シロップ化（秩父カエデ糖）のほか、カエデ酵母菌使用のパンの開発、カエデのラムネの販売など、6次産業化と林商工連携によるお菓子づくりを推進

針葉樹林にカエデを植栽するなど、針広混交林化や「花粉の少ない森づくり」を推進

大手小売店、コンビニ、通信販売を活用した販売事業を展開

成果

商品の製造等に地域の若者、高齢者、障害者等と連携協働することで、商品の収益を地域全体に循環させる仕組みを構築

大手小売り等との連携により、関連商品の売上げが倍増（H23:2,500万 H26:4,600万円）

国産メープルシロップ事業は、持続可能な森林の活用、山林の再生に貢献するほか、お菓子製造を通じて地域活性化に貢献



神奈川県 平塚市

6次産業化

農商工連携

地産地消



平塚市漁業協同組合

平塚のお魚普及キャンペーン大作戦



キッチンカーによる販売



地どれ魚直売会

ビーチdeさばき方教室

概要

大型農産物直売所や港の荷さばき施設で、漁師による対面販売により、地元で捕れる魚を新鮮でおいしく食べることができる幸せを平塚市民等に共感してもらうとともに、大漁で値がつかない魚、流通にのりにくい規格外の魚等を販売

各種イベントでのキッチンカーによるお魚せんべいの販売や、地元FM局と連携した中継付き販売など、地魚のPR活動

飲食店兼加工施設を立ち上げ、6次産業化に取り組み

成果

漁師から消費者への直接販売により、**漁師の魚の扱いや鮮度管理等の意識が向上**

「低利用魚」の付加価値を高める新商品開発等により、**漁師の経営マインドや視野が向上**

6次産業化による多角的な取組により、新たな収入確保、PR効果も実感でき、モチベーションが向上。地どれ魚直売会開始当初から**3年間で売上げが約4割増**(H23-26)



静岡県 西伊豆町

6次産業化

農商工連携

地産地消



西伊豆しおかつお研究会

伝統の味でまちおこし！伊豆半島を元気に！



中学校の食育授業



B-1グランプリに出展



浅間大社奥宮へ奉納

概要

地域の伝統食「潮鯉」の神事の再現や、地域の団体と連携して、鯉漁で栄えた当地の歴史や食文化に着目したイベントを共催

地域のグルメ「西伊豆しおかつおうどん」を通じて、B-1グランプリに出展し、食の提供とともに地域をPR

学校給食での「西伊豆しおかつおうどん」の提供と、潮鯉の歴史など出張授業による食育活動

成果

「潮鯉」は、あまりの塩辛さと知名度の低さから、製造が途絶えそうな危機的状況であったが、活動により生産量が増加し、ふりかけや関連商品も販売。西伊豆しおかつおうどんの提供店舗も34店舗になるなど、地域の飲食店、土産物店、食品会社の売上に貢献

イタリアのスローフード協会が希少な絶滅の恐れのある食材を認定する「味の箱船」に認定



食育

「食」の
提供・活用

地産地消

富山県 射水市



新湊漁業協同組合

新湊の魚、日本一。食べに来られ！



市内の小学校でカニ給食



昼セリの見学



万葉カレイの試食会

概要

朝・昼2回のセリ見学、見学活動と衛生確保を両立させる施設改築、「カニ給食」（市内全小学6年生にベニズワイガニ丸ごと1匹プレゼント）による魚食普及、高校生を対象とした魚のさばき方教室等を実施

「新湊カニかに新鮮白えびまつり」において、新湊漁港で水揚げされるベニズワイガニや白えび等の販売や食の提供

若手漁師によるマコガレイのブランド化やイワガキの養殖技術の実用化

成果

「新湊カニかに新鮮白えびまつり」は、県内外からの集客があり、毎年約4万から5万人の集客。昼セリ見学者数は1年で4倍に（H25-26）

新湊で水揚げしたマコガレイを数日間養育し、肉厚の状態の良いものを「万葉カレイ」として付加価値を付けて出荷



伝統・継承

農林漁業
体験

自然・景観

石川県 能登町



しゅんらん 春蘭の里実行委員会

みんなの探しものが見つかるむらづくり



輪島塗の御膳



農家民宿で修学旅行を受入れ



キノコ狩り体験

概要

黒瓦、白壁などの景観や地域の生活様式といった、地域の景観や伝統を地域の宝として農家民宿・体験事業を実施し、国内外の教育旅行や一般客を受入れ

輪島塗りの器を使用するなど農家民宿の質の向上や宿泊受付窓口・料金の統一化、80を超える体験メニューを整備

農家民宿の開業講座や勉強会など農家民宿の確保や魅力の向上

成果

平成9年度1軒だった農家民宿が周辺集落にも広がり47軒に拡大。春蘭の里金沢会が発足

入り込み客数が平成9年度30人から平成26年度には1万人超え

世界農業遺産効果で地域の建設業者の農業参入により、耕作放棄地が解消



女性の活躍

定住・移住

6次産業化

石川県 七尾市



の と たか NOTO高農園

移り住んだ能登島の魅力を野菜に籠める



能登島の魅力を野菜に籠める



耕作放棄地を再生



コリンキー(生食可能なかぼちゃ)

概要

平成12年に夫婦で新規就農し、遊休農地を利用して伝統野菜等をエコ栽培、有機栽培

地域の食材の魅力や栽培情報を広め、6次産業化を推進

「能登エコファーマーズ倶楽部」を設立し、エコ農業や地産地消のPR。若手女性農業者や異業種女性の仲間づくりを推進

成果

作付けの拡大に伴い耕作放棄地が減少

能登島の食材のPR・普及により、農業体験や移住希望者が増大。百貨店バイヤー、レストランシェフ等、毎年500人規模の体験を受入れ

能登が世界農業遺産に登録されたこともあり、エコ農業等の環境に配慮した農業生産に注目



女性の活躍

伝統・継承

学校・企業

福井県 福井市



でんが 殿下の里づくり組合 かじかの里山殿下部会

引き継ごう伝承の味、伝統の文化！



農家レストランでのおもてなし



開店当時



大学生と新商品の開発

概要

限界集落内唯一の商業施設（そば屋）の廃業危機に対して、地域の女性たち（60～80代）が農家レストランを立ち上げ、地域の伝承料理、地元野菜を使った創作料理を提供

人気のある惣菜を缶詰にして全国販売

大学生と連携してイベントの実施や、新商品の開発、店舗の有効利用など、地域の活性化に向けた取組を展開

成果

農家レストランの開業等により、地域への人の流れが、「通りすぎ」から「ワンストップ」してもらえる地域に変化

年間来店者も平成22年の数百人から平成26年約6千人に増加し、それに比例して売上げも約10倍に増加するなど地域が活性化



定住・移住

研修

農林漁業
体験

福井県 若狭町



農業生産法人 有限会社 かみなか農楽舎

農業で地域を元気にする次世代リーダー育成



操作の指導を受ける研修生



田植え体験イベント



地元担い手との交流会

概要

都市からの若者の就農定住による地域活性化を目的に、農業技術、農業経営、機械メンテナンス等の2年間の研修を実施

一番の研修を「地域の一員になること」とし、集落行事、祭りなど地域の伝統行事に積極的に参加

各種機関と連携し教育旅行で農業体験を実施。将来農業を志す研修生と交流し、職業感も含め体験を提供

成果

平成13年から平成27年までに研修修了生22人が町内で就農、家族を含めると58人が町内に定住

定住者の農地集積は町内農地の10%以上に広がり、担い手として活躍

研修卒業生等の地域行事等への参加は、地元若者の参加やUターンのきっかけになるなど地域全体が活性化



岐阜県 下呂市

自然・景観

観光

「食」の提供・活用



まぜ 馬瀬地方自然公園づくり委員会

日本一の美味しい村・美しい村づくり (馬瀬地方自然公園づくり)



馬瀬地域の景観



火振り漁を公開



ウォーキングイベントの開催

概要

観光と農林業の調和を重視したフランスの「地方自然公園制度」を訪仏して直接学び、参考にして活動

集落の野外を博物館に見立てた「里山ミュージアム」、地域を網羅するウォーキングコースの設定、ウォーキングイベントの開催、馬瀬川の伝統漁法の観光ツアー等の取組

地域の名産の鮎について、イベント開催、料理提供、加工品の開発など、地域の食としての魅力を引き出し

成果

里山ミュージアムなど新たな取組の開始により、**域内イベント参加者数が300人から約2千人に**(H24-26)

景観など地域の魅力を積極的に発掘し活かす取組を続けた結果、住民が地域の良さに気づき、自主的な取組の機運が醸成

地域に定住した地域おこし協力隊員や学生の活動参加が活発化



三重県 鳥羽市

女性の活躍

伝統・継承

観光



おうさつ あま 相差海女文化運営協議会

日本一海女が多いまち 鳥羽相差
海女文化を世界へ発信！



海女と触れ合う体験施設



海女小屋相差かまど



海女が信仰する「石神さん」

概要

地元の海女が信仰する神明神社「石神さん」や海女と触れ合うことができる「海女小屋相差かまど」、海女について知る「海女文化資料館」、地域の特産品の販売施設等の整備や、海の信仰を知り体験する散策コースを、商工会議所と協働して設定し、次世代へ継承すべき海女漁という地域文化をフル活用

施設の従業員等、運営は海女をはじめすべて女性

成果

地域固有の文化である海女に特化した事業の継続的な取組により、テレビ、雑誌等マスコミ関係者の取材が増え発信力が向上

ミシュランの旅行ガイドで1つ星獲得など、外国人の高い評価

海女の漁が行われなくなると海女の雇用・所得向上の場となり、海女減少率の鈍化に寄与。協議会としても6千万円超の売上げ



自然・景観

農林漁業
体験

ネットワーク

滋賀県 野洲市



せせらぎの郷^{さと}

生きものと人が共存できる農業を目指して



田んぼの稚魚の観察会



環境に配慮した米からの酒造り



稲刈り体験

概要

琵琶湖の湖魚が水路を通じて田んぼで産卵・生育し、琵琶湖に戻っていくという田園環境を取り戻すため、減農薬、無化学肥料による米作りを実施。また、6次産業化の取組として日本酒を販売

都市住民の農作業体験、田んぼの稚魚の観察会、地元住民と都市住民の交流会を開催

こうした取組に関心のある地域、人とのネットワークを構築

成果

都市住民との交流を通して、地域住民の自然環境に対する意識が向上

無農薬・無化学肥料栽培など新たな取組にチャレンジするなど、環境と経済への発展を視野に入れた活動が展開

2016年にメキシコで開催予定のCOP13に参加して、活動をPR予定



和歌山県 有田市

6次産業化

輸出

女性の活躍



株式会社 早和果樹園 そうわ

有田みかんの6次産業化による地域活性化



有田みかんの加工商品



商談会での試飲

シニア女性の加工作業

概要

高品質の有田みかん生産に取り組みほか、みかんジュース、ジャム、ポン酢など有田みかんに特化した商品開発を推進。生産にはICT農業システムを導入し栽培技術の「見える化」を進め、農作業の効率化を推進

各種商談会や百貨店等での販売や海外への輸出など、販売促進と消費者のニーズを把握。消費者との交流事業も実施

農作業や加工などシニア女性の活躍の場である子会社を設立

成果

地元のみかん農家約250戸と契約し、高付加価値の加工品の販売により、加工原料みかんを市価よりも高く買取り。また、売上げも1.5倍に増加（H25-26）

常時50人を雇用するとともに、さらに臨時で50人雇用するなど中山間地域における雇用の創出

交流事業により、有田みかんファンの定着が促進



和歌山県 田辺市

観光

農林漁業
体験

「食」の
提供・活用



農業法人 株式会社 秋津野^{あきずの}

都市と農村の交流施設 秋津野ガルテン

(廃校舎を活用した施設で日本型グリーン・ツーリズムの推進)



秋津野ガルテン外観(旧小学校)



農家レストラン



市民農園でサツマイモ植付け

概要

地域住民489名が出資し、
廃校を活用したグリーン
ツーリズムを実施する法人
を設立

木造校舎を利用して、農家
レストランや宿泊事業のほか、
農業体験、みかんの
オーナー制度、市民農園な
どの交流事業を展開

成果

農家レストランをはじめと
した交流事業による年間交
流人口は約6万人。法人運
営により、35名の雇用が創
出

和歌山大学の調査研究によ
ると、田辺市周辺に年間10
億円の経済効果

地域資源である旧小学校の
木造校舎を残したことが
489名の出資を呼び込み、
10年先を考える地域づくり
を活性化



島根県 浜田市

観光

6次産業化

ネットワーク



びまた ゆげ 美又湯気の里づくり委員会

美肌の湯が紡ぎ育む「地域まるごと6次産業化」



概要

地域全戸を対象としたワークショップ等で地域の埋もれた宝である「黒食材」と「美又温泉」に着目し、「地域まるごと6次産業化」に向けた取組を展開

1次産業として「黒米」、「黒大豆」を栽培し、2次産業としてNPO法人を起業して黒米や黒大豆の全量買取による黒米焼酎や黒大豆豆腐の加工を行い、3次産業として美肌効果のある「黒食材」と美肌の湯「美又温泉」とを組み合わせたブランド化を推進

成果

条件不利地域において、高付加価値型農業を实践（従来の作物と比べて、黒米、黒大豆の栽培により所得が3倍に向上）

地域の宝（食材、温泉、景観、人、伝統芸能）を紡いだ「地域まるごと6次産業化」による地域再生の取組は、地域の誰もがかわり、所得向上等の効果を実感することで地域のまちづくりの機運向上



自然・景観

伝統・継承

学校・企業

岡山県 久米南町



きたしょう

北庄中央棚田天然米生産組合

都市との交流で「苦農」から「楽農」へ



田んぼの学校(児童が田植え)



田植え体験

田んぼの学校(ため池の仕組み)

概要

県補助事業終了後も棚田保全を進めるため、本組合を設立。地元小学校と連携し、田植・稲刈作業を体験する「田んぼの学校」を実施

棚田撮影の写真家はじめ都市住民が参加する「棚田支援隊」を発足し、地域住民と協働で、棚田の荒廃地発生抑制を目的に天日干しコシヒカリの栽培等を実施

棚田米をブランド米として関西・関東の米問屋に販路を開拓

成果

地元小学校では、農を通じて地域文化や遺構を活用した他の学校にない総合学習として取り組まれ、情操教育に寄与

荒廃地発生が抑制され、都市住民と田舎との交流が進展

棚田米が安定した優位な価格で販売でき、モチベーション向上



医療・福祉

6次産業化

定住・移住

山口県 萩市



いーじーえふ

社会福祉法人 E.G.F

障害者が力をあわせ未来の農業を支える



障害者による玉ねぎ生産



障害の特性を生かした農業

オリジナルの箱で全国発送

概要

メロン、イチゴ、野菜の苗作りから収穫、加工まで、障害者の能力に応じ各工程に障害者が関わり事業を展開

12粒2,500円で販売する有機栽培イチゴ、高い需要の国産手剥き栗など、下請け的な作業ではなく「本物づくり」を目指し、営業に力を入れて、農作物、加工品を販売

品質が確保されたものだけを農産物として販売。他は加工品として販売

成果

雇用が確保され、安定した給与の下で農業に従事できることから、市外・県外からの就職希望があり、移住者が増加

圃場での障害者の活動を見た地域住民や農地所有者から、農地の管理依頼が増加

自然豊かな環境で農業に取り組むことで、精神的にも障害者の安定に寄与し、障害程度区分の改善に効果



徳島県 吉野川市

自然・景観

伝統・継承

「食」の
提供・活用



特定非営利活動法人 美郷宝さがし探検隊

「キレイのさと」 美郷の宝の守り人



学生に「石積み教室」



ホテルの保全、自然学習



「美郷梅酒まつり」に沸く農家民宿

概要

大学機関と連携し、住民だけで保存が難しくなった石積みの保全体制を構築。地元住民を講師に、学生に石積み技術の習得・継承や能郷体験を実施

天然記念物に指定されているホテルの生息環境づくりや、「ほたるまつり」を地元の各団体と協力して開催
「梅酒特区」認定を受け、酒蔵及び農家民宿と連携し、試飲・購入ができる「体験型ラリーイベント」を開催

成果

活動の結果、過疎高齢化で衰退の途を懸念していた地域に年間8万人の観光客が訪問

梅酒特区の認定により、Uターン、Iターンによる梅酒の製造者が増加。地域おこし協力隊の移住者も村内5人目の梅酒製造者に

農家民宿の開業や6次産業化を手がける農園、地元商工会の農山村体験交流イベントの開催など、地域に波及効果



香川県 多度津町

耕作放棄地
再生

6次産業化

地産地消



農事組合法人 たどつオリーブ生産組合

瀬戸内の小さな町で創った「蒼のダイヤ」^{あお}



統一ブランド「蒼のダイヤ」



かがわ農業フェアでPR



オリーブを植樹した再生農地

概要

ブドウ産地で、農業者の高齢化・後継者不足の進行等により増加した耕作放棄地を利用し、県花・県木であるオリーブを栽培

町内企業と連携し、地場産オリーブを「蒼のダイヤ」というブランドで製品化し、県内や首都圏にて販売

馴染みのなかった町民への普及を図るため、オリーブの佃煮など新商品を開発し、学校給食やイベントを利用した普及活動を実施

成果

ブドウと比べ手間がかからず収益性が見込めることや、ブドウとの作業競合が少ないことが普及するにつれて、耕作放棄地再生・オリーブ植栽の機運が高まり、結実開始（H24）の100kgのオリーブ収穫から、1,500kg（H26）、27年には7,200kgの収穫を見込む

オリーブの共同加工やイベント開催により、消費者や飲食店、企業など異業種とのつながりが新たに構築。国際オリーブオイルコンテストで金賞を受賞



熊本県 玉名市

「食」の
提供・活用

研修

ボランティア



しょうだいさん 小岱山薬草の会

薬草食べて元気な町に



地元中学校へへの出前薬草料理教室



薬草花壇の整備

薬草観察講演会

概要

地域内に昔から自生する薬草の知識や料理法について、大学薬学部と連携して、地元住民、小中高生を対象に、広報紙やイベント、料理教室、出前勉強会で普及啓発

高齢者コミュニティビジネス支援のため、公園内の薬草花壇づくりや、荒廃した農園を薬草農園に変え薬草茶と薬草足湯をつくる事業を支援

薬草活用を希望する県内外の団体に対し、研修の受入れを実施

成果

継続的な普及活動により、地元住民に薬草知識を持つ者が増加

イベントへの積極的な参加によりマスコミに取り上げられることが多くなり、薬草の町として認知度が向上

県外からも研修の申込があるなど、取組が全国的に波及



鹿児島県 南大隅町

医療・福祉

6次産業化

女性の活躍



社会福祉法人 白鳩会

農福連携で過疎化になやむ地域おこしを！



ソーセージの結束作業



花の木農場での茶生産
(東京ドーム20倍の面積)



アンテナショップ

概要

障害者が安心して働き暮らせる場をつくるため、**農事組合法人**を設立し、**農業を企業化**(障害者に高い給与水準を確保)

農場内で牛糞等を作物肥料に使用する**循環型農法**を実践し、**茶製造、ハム・ソーセージ**などの食品加工を行い、統一ブランド名「**花の木農場**」で販売

鹿児島市内に**アンテナショップ**を開設し、**ジェラート**等の製造・販売とともに、**消費者に直結する商品開発**を促進

成果

農場経営の規模拡大・安定化で、**県内はもとより県外からの就職希望者が増加**

女性が働きやすい職場環境づくりが促進

イベントの開催など食品の販売を通じて、**県内外の人々と交流促進**



沖縄県 名護市

「食」の
提供・活用

6次産業化

農商工連携



はるさー やんばる畑人プロジェクト

「やんばるは美味しい！」を全国へ！



やんばる畑人プロジェクトによるフードフェス



春の香祭名護漁協と連携

やんばるスパイス

概要

地域の農家20名がレストラン、宿泊施設、加工企業等42店舗と連携し、農産物からスパイスまで全て地元やんばる産でおもてなし

農家と飲食店の連携により、地元保育園児に対し「植え付け、収穫、調理、食べる」までの工程を実体験

規格外の食材を利用した付加価値の高い商品の開発。また、マルシェや地域の食材を中心としたフードメニューで、地域資源の素晴らしさを実感してもらうフードフェスを開催

成果

新聞やTVの取材が多くなり、取組や地域資源を全国に発信

大手コンビニエンスストアの弁当に食材が採用されるとともに、首都圏の百貨店の沖縄展のメインブースを担当

フードフェスの売上げは、1.5倍に (H25-26)